

平成29年度

# 事業報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

学校法人 大阪学園

# 平成29年度 事業報告書

## 1. 法人の概要

### (1) 教育方針・校是・教育目標・学校像

#### ◇ 教育方針

本校の教育方針は、至誠・和協・感謝を信条とし 責任を重んじ  
自主的精神に充ちた 心身ともに 健全で 有能な人材の育成を方針とする

#### ◇ 校是

至誠通天 (至誠、天に通ず：誠実に努力すれば、天も味方をしてくれる)

#### ◇ 教育目標

- ・「知育」「徳育」「体育」の調和の取れた全人教育の追及
- ・未来へ、世界へ開く自己の確立

#### ◇ 学校像

ユニークな進学校として、北摂の地に根をしっかりとはり、太い幹となる。

- ・学びを中心とした丁寧に面倒を見てくれる学校
- ・生徒全体を分け隔てなく伸ばそうとしてくれる学校
- ・あったかい学校

#### ◇ 教育姿勢

創意工夫

### (2) 設置する学校・学部・学科等

①学校法人 大阪学園 大阪高等学校

②全日制普通科 文理特進コース  
総合進学コース

### (3) 入学定員、生徒数の状況

①学則定員 1,800名 募集定員 1,200名 (400名×3学年)

②入学定員 募集生徒数(定員) 400名  
平成29年度入学 602名  
定員充足 プラス202名

③生徒数の現状 平成29年度

1学年 602名

2学年 525名

3学年 649名

1,776名

#### (4) 学園役員並びに教職員の概要

①学園役員	理事は理事長以下	5名
	監事	2名
	評議員	理事5名+8名=13名
②教職員	教員教諭(校長除く)	51名
	常勤講師	28名
	非常勤講師	45名
	嘱託職員(教員)	6名
	職員(会計・庶務)	6名
	(図書司書)	1名
	事務補員(庶務)	1名
	実習補助員(家庭科1・理科1)	2名
	技術職員(校務員)	1名
	技術補助員(校務員)	4名
	合計	145名

## 2. 事業概要

### (1) 教学面

#### ◇学校づくりの目標

- ①学習活動と特別教育活動の両面から、人間的成長と希望する進路の実現を図る学校
- ②生徒・保護者および地域から愛され、信頼されるとともに、安心して安全な学校
- ③広報活動を充実させ、より多くの中学生・保護者に理解いただき、支持を頂ける学校

#### ◇重点課題

- ①学力を多面的に捉え、向上を図る
- ②進路観を掘り起こし、希望進路の実現を図る
- ③学校行事・部活動の充実を図る
- ④基本的な生活習慣の確立を図る

◇ 目標と結果

① 入学者数

602名の入学者を迎えることができ、北摂地区では有数の受験者数が続いている。

② 研究授業の質的向上

各教科より精選された授業者による研究授業が実施された。これまでと異なるところは授業者との綿密な打ち合わせであり、意見交換であった。その期間も1学期後半から夏休みを経て2学期実施の運びとなった。この機運が今までにない進路決定に影響を及ぼしたとも考えられる。

③ 出席率98%以上、転学者を減少させ、退学者をなくす。

出席率が98%を超えるクラスが増加した。落ち着いたある高校生活を送っている生徒が大多数となった結果だと評価している。また、地域の方々からの評価も同様であり、転学者の減少、退学者の大幅減に繋がっているものと思われる。

④ 進路決定率100%、K30・中堅私大100の継続を目指す。

進路決定率92.4%だったが、関西大学22名の合格者が誕生するなど、目標としての難関大学合格者数30を突破、37名の合格者数となった。国公立大学合格者は23年連続となった。もう一つの目標である中堅私大合格者数100は3倍を超え309となった。特質すべきは海外の大学挑戦である。韓国の祥明大学、カンボジアのキリロム工科大学への進学は新たな成長物語を生み出す契機と位置づけている。

本校は耐震化第3期工事が完了し、第4期として体育館の建て替えに着手する。本校の使命として安心・安全をベースに、信頼を得て来たどの生徒も伸びる教育にますます磨きをかける必要を感じている。21世紀を生き生きと過ごす力を生徒が手にするためにも、本校は高校単独校である利を活かし、多様な教育機関と自由に連携し、実践を積み重ねることを続けて生きたいと考えている。

### 3. 財務の概要

#### 学校法人会計

国又は地方公共団体より補助金の交付を受ける学校法人は、経理内容の透明性・信頼性を確保すべく、「私立学校振興助成法」において、計算書類を作成し、外部監査を受けて所轄庁へ届出することが義務付けられています。

この従うべき基準が、「学校法人会計基準」であり、学校法人の目的に合致し、私学助成を受ける学校法人が遵守する統一的な会計基準として定められました。この基準に従い、本学園も「事業活動収支計算書」「資金収支計算書」「貸借対照表」などの財務書類を作成しています。

#### (1) 資金収支計算書

##### ①収入の部

前年度繰越支払資金を除いた当年度の収入額は18億2,794万円となりました。

入学者数は54人増の602名、生徒数は33人増の1,776名となり、学生生徒等からの授業料や入学金等の学生生徒等納付金収入は6億9,372万円（前期比+3,192万円）、入学検定料等の手数料収入は3,571万円（前期比△563万円）となりました。

補助金収入は9億8,558万円（前期比+5,480万円）で、大阪府経常費補助金収入4億8,840万円（前期比+2,121万円）、授業料支援補助金収入4億5,862万円（前期比△158万円）が交付されました。施設・設備の国庫補助金収入が2,704万円（前期比+2,704万円）、耐震化の大阪府補助金収入が801万円（前期比+801万円）交付されました。

雑収入では退職金財団交付金収入が7,760万円ありました。

##### ②支出の部

翌年度繰越支払資金を除いた当年度の支出額は18億2,501万円となりました。

人件費支出は9億6,161万円（前期比△3,437万円）となりました。主な減少要因は退職金支払1,531万円になります。

教育研究費支出及び管理経費支出は3億6,078万円（前期比+7,304万円）となりました。主な増加要因は記念館改修工事の解体撤去費用3,290万円になります。

施設関係支出は3億9,837万円、設備関係支出は2,185万円で記念館耐震及び一般改修工事を行いました。

上記の結果、翌年度繰越支払資金は17億967万円（前期比+292万円）となりました。

## (2) 事業活動収支計算書

事業活動収入計は18億1,199万円、事業活動支出計は13億8,739万円となりました。

### ①教育活動収支

収入は学生生徒等納付金、手数料、寄付金、経常費等補助金等で17億7,609万円（前期比+3,997万円）となりました。支出は人件費、教育研究経費、管理経費等で13億7,813万円（前期比△6,844万円）となりました。

なお、教育研究経費および管理経費に含まれる減価償却費は7,859万円となりました。

### ②教育活動外収支

借入金の約定返済により借入金利息が減少（△67万円）し、**教育活動外収支差額は△235万円**となりました。

### ③特別収支

臨時的な収支を表す特別収支には記念館耐震工事の補助金、改修工事等で資産処分差額があり、退職給与引当金特別繰入額と合わせて**特別収支差額は2,899万円（前期比+4,061万円）**となりました。

### ④当年度収支差額

「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」の合計、**基本金組入前当年度収支差額は4億2,459万円（前期比+1億4,971万円）**となりました。

**基本金組入額合計は4億4,060万円（前期比+3億6,833円）、当年度収支差額は△1,600万円（前期比△2億1,862万円）**となり、前年度繰越収支差額と基本金取崩額を合わせた**翌年度繰越収支差額は△2億8,947万円**となりました。

以 上